

ているるちゃんがいく！

沖縄県男女共同参画センター「ているる」情報誌

Vol.70

2023.3



- 大城 貴代子 理事長から聞く ～復帰50年沖縄女性たちのあゆみ～
- 令和4年度ているる塾 県内女性リーダーに聞く！ 野原 真麻 氏、玉城 直美 氏
- 連載 ているる塾修了生コラム第4回 第2期修了生 下地 ななえ さん
- ているる図書情報室のご案内
- 令和4年度 第4期「ているる塾」課題検討結果報告会・閉講式
- 事業報告
- ご案内／賛助会員のご紹介

大城 貴代子 理事長から聞く 復帰50年沖縄女性たちのあゆみ

2022年5月15日沖縄が本土に復帰して50年という節目を迎えました。これまで沖縄の女性たちの地位向上や男女共同参画社会づくりに尽力し、沖縄社会の発展に大きく寄与してきた、おきなわ女性財団 大城貴代子理事長から復帰後50年を振り返りながら沖縄女性たちのあゆみをお聞きしました。(2023年1月25日
ているる3階研修室1・2)



おおしろ きよこ
大城 貴代子 理事長
公益財団法人おきなわ女性財団

わたしは1940年の生まれで、来月で83歳になります。記憶力、心身の衰えを感じますが、先輩方を見るとまだまだ頑張らないといけないと感じます。

初めて沖縄を知ったのは、今から約60年前。山口県で青年団活動をしていた際に行われた交歓会を通して復帰運動に燃える沖縄の青年たちに出会い、沖縄の現状を知りました。それを機に結婚し沖縄に住むことになりました。

知らない土地に行くので、結婚後も仕事は続けたと思います、夫も賛同してくれました。しかし、教員

の採用通知先は南大東島と遠方だったため、教員は断念し琉球政府に就職しました。保育所探しや職場での女性の待遇、仕事と家事・育児の両立などに直面し、結婚した女性が働くことの難しさを実感しました。

当時、官公庁労働組合婦人部再建の声があがっており、これを契機に組合の活動に取り組み、のちに「沖縄婦人団体連絡協議会」の結成大会に参加し、その時の沖縄の女性たちのパワーに感動しました。職場では、婦人の働く権利を求めるとともに、産休や育児休業などの母体保護の拡充に関わりました。復帰運動の中で女性の地位向上、人権尊重などはまだまだ難しかったのですが、売買春の実態、公立保育所不足、ドルから円への切り替えによる差損の実態などを明らかにしました。沖縄における米軍基地から派生する女性への影響から女性たちの人権や暮らしを守り、女性が働き続けることができる条件をつくるのが大切でした。

復帰後、女性運動は一時停滞し、行政においても復帰直後の混乱のなかで女性行政を行っていた婦人少年課がなくなっていた時期がありました。1975年国際婦人年を契機に世界中の女性たちが立ち上がりました。沖縄県にも女性行政を担当するポストが必要だということ、女性団体が陳情を行い、のちの青少年婦人課が誕生しました。「国連女性の10年」のなか、1979年の女性差別撤廃条約が大きな成果として挙げられます。その批准のために、当時の沖縄の女性団体も男女雇用平等法を求める運動、教育における男女平等、国籍法改正(無国籍児問題)運動に取り組みました。

1985年には沖縄タイムス社による共催で、第一回うないフェスティバルが開催され、以降長期にわたって継続しました。その中で初めて男性たちの意識の変化があり、「女性の問題は男性の問題である」と考えられるようになった変わり目だと思えます。

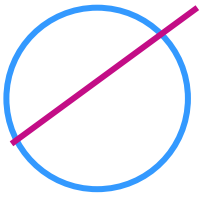
また、海外との関わりとして「女性の翼」の一環でASEAN諸国や欧州を訪ね、世界の男女共同参画状況に刺激も受けました。1990年大田県政になり、91年に全国で2番目に女性の副知事が誕生しました。その後、裁判所や新聞社でも女性の登用が加速し、沖縄の女性たちが本場に輝いていました。そして1999年には男女共同参画社会基本法が成立し、ここが一つのまとめになっていると思えます。

見えてきたこれからの課題として、日本はジェンダーギャップ指数が146カ国中11位と世界に比べ大幅に低く、特に政治分野は13位と低迷しています。また、県内では女性議員の比率が北谷町が36.8%、那覇市が32.5%となりましたが、島嶼地域では女性議員が1人もいないところもあります。そこで、女性が政治に参画するためにはクオータ制の導入や家族の理解が必要になります。

これからの50年で法律や家族の形態が変わり、女性を取り巻く環境も変わっていきます。今日お話ししたような過去の上に今があるということ、歴史の流れがあったということをぜひ頭に入れてください。積み残された課題、新しくでてきた課題などがあります。ジェンダー平等を進めるため、これからも進んでいきましょう。

令和4年度でいる塾

県内女性リーダーに聞く！



のほら まあさ
野原 真麻 氏
株式会社 Islandworks 代表取締役



県外の大学を卒業後、東京の証券会社に就職し、2年後に転職、30歳の時に沖縄支所勤務のためUターンしました。その後、沖縄支所で初めての女性所長となり、在籍中に2人の子どもを出産。育休後、ライフステージの変化で自分の人生を考え直すきっかけもあり、2018年に会社を設立することとなりました。

本日はみなさんにお伝えしたいことが3つあります。
①レジリエンス力 ②自分の人生の主導権を握る
③これからの時代のリーダーとはです。

企業での仕事を通して学んだことは「目標を達成するために挑戦し、そして失敗すること。挑戦することとは勇気がいります。失敗したら…という不安要素が新しい一步を踏み出すときの障害要因になります。行動をしないと結果も出ず、検証もできないので「まず動く」失敗を怖がらずチャレンジすることで敷居が低くなり、起業をしたときにも役に立ったマインドです。次に、大きく意識したのは「主導権を握る」ことです。人生における優先順位をつけ、自身の価値を探し、可能性を信じて挑戦しています。失敗や納得出来ない結果があったとしても、やり遂げる意志決定が必要です。

国連の世界幸福度報告で日本は146カ国中54位でした。上位国の幸福度が高い理由の一つに、「自分で意志決定をしている」というデータがありました。自分で

意志決定ができていくかどうかは生きるうえでのメンタルモチベーションの維持に繋がります。

最後に、コミュニティやチーム、組織では一人一人がビジョンを掲げ役割を果たし、己のリーダー資質を養うことが大事だと思います。みんなが納得できる答えを揉む場をつくり、プロセスに共感し、それぞれが成長する。これからの時代のリーダーは、特定の誰かやポジションということではなく、仲間を巻き込み、方向性を見せ、サポートしていくことがより重要になっていくと思います。

全ては自分の意志でその場に居る、自分が選択したと思っても、望まない現実直面する場合もあります。しかし、それを前向きに主体的な選択として捉えられる思考の変換がライフデザイン力で大きな肝になります。ぜひ、今を謳歌しながら、納得感のある生き方をしてください。

たましろ なおみ
玉城 直美 氏
特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター代表理事



はじめに「平等」と「公正」についてみなさんと考えたいと思います。平等とはみんなと同じように同じものを与えることですが、公正とはその人に合わせ、個々の差異に配慮し、均等な機会を与えることをいいます。平等と公正は若干違うということをぜひ覚えてほしいです。公平公正に与えることで見えてくる世界があります。

次にジェンダーギャップ指数についてですが、日本

は146カ国中11位とG7の中でも最低で、アジアの中でも遅れている国の一つです。政治・経済への女性の参画が圧倒的に弱く、意思決定の場に女性が入っていないことに問題があります。令和2年度男女共同参画白書(参照1)をみると、日本の女性の家事育児の時間が7時間半とあり、他の国よりも圧倒的に長く、子育て世帯に共働き世帯が多いことを鑑みると、2つの仕事をしている状態になっています。女性の方が「平等」の前に背負っているものが多すぎます。女性が家事・育児の固定化から解放され、男性も性による役割から解放されないと、管理職などのポジションに女性がつくのは難しいと思います。

ではなぜ、SDGsが必要なのか。世界的なグローバルキャンペーンとして取り組むことにより貧困、教育、乳幼児死亡率を半減にすることが達成されました。また、企業として社会に何を発信するのが問われる時代になっています。性別によらない社会全体の見方があり、P&GのCMから職場環境づくりがどういうものかを参照にて考え、それをSDGsの視点で解決していくという企業としての意思表示を私たちも注目していくことは大事です。

最後に自分自身に感謝状をつくってください。みなさんが頑張って精一杯生きていることは、ひとりひとりが賞に値することだと思います。そして、この社会で自分らしい生き方をすることこそが持続可能な社会に繋がっていくと思います。みなさんのご活躍を祈っております。今日はありがとうございました。

参照1：(内閣府令和2年度男女共同参画白書：図表2-2 6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間(週全体平均)(1日当たり、国際比較)

「仲間がいるから

真っ直ぐに自信を持って進んでいける」

第2期修了生 下地 ななえ さん

沖縄県と（公財）おきなわ女性財団が主催し、令和元年度から行っている女性人材育成事業でいるる塾では、これまでに107名の方が修了しました。現在、職場・家庭・地域のあらゆる場で活躍されている修了生の中から今回は第2期修了生 下地ななえさんに「ているる塾」について寄稿頂きました。

感染症拡大の影響で・・・

新型コロナウイルスの流行により沖縄に来る観光客が激減し、私の一番のお仕事である会社の広報のお仕事が全くななくなってしまいました。本当に悩んで落ち込んでいた時に、ているる塾第1期生の知人から紹介されて2期生に応募しました。結果、本当に受講して良かったです。

沖縄に来てちょうど10年目、40歳の時に第2期「ているる塾」を受講させて頂いた皆さま。沖縄に来る以前は、一部上場企業の総合職でキャリアウーマンとしてバリバリ働いていた時期もありましたが、女性は一度結婚や出産をして仕事を辞めてしまうとなかなか思うような仕事に就くことが難しいということを感じます。

特に沖縄に移住してからは、望むような条件の仕事も少なく、やっと掴んだホテル業の管理職で子育てをしながら必死に働いていました。病児保育のベッドが足りないから「オンラインワンの仕事ができなくて困る」と市や県に保育の充実をお願いに行ったこともあるくらい、とにかく朝から晩まで必死で仕事をしていました。

女性キャリア実現党！

私のグループでは『女性キャリア実現党』というチーム名をつけて、なぜ女性管理職が少ないのか、女性の政治家が少ないのかという事や、そもそも女性はキャリアアップを

9月の受講スタート時には、申込時の仕事は辞めていて人生で初めての起業をし、経営で日々悪戦苦闘をしていましたが、仲間と事務局スタッフの方のサポートにより何とか無事に卒業することができました。何よりも同じ女性の仲間ができたのが一番の財産となりました。私のように仕事と子育ての両立やキャリアアップに悩む女性がたくさんいて、悩みを共感し合えたのが救いでした。今でも一緒にランチをする何でも相談できる仲間です。

現在取り組んでいること

今現在は、キャリア教育活動や、働くお母さんの支援活動に取り組んでおります。ているる塾での経験があり、仲間ができたからこそ自分のやりたい事に真っ直ぐに進んでいける自信に繋がりました。玉城デニー塾長、スタッフの皆様本当にありがとうございます。

下地 ななえ(しもじ ななえ)

沖縄タレントとしてTVリポーターやラジオパーソナリティー・司会業を行いながら、女性のためのエステサロンBeautyQueenを経営。インスタやFacebookなどSNSでの営業支援、セルフブランディングなどのセミナーが人気。キャリア教育活動(お仕事先生として小学校から大学まで講演)実施中。



ているる図書情報室のご案内



沖縄県男女共同参画センター「ているる」図書情報室は、女性の地位向上、男女共同参画社会づくりをめざして、女性問題に関する図書、AV資料、行政資料、県内外の女性関連施設概要、紀要、専門誌（紙）などの収集・提供を行う専門図書室です。社会環境の変化に伴い生じる女性問題の的確な把握、課題解決に向けた調査・研究の場、情報発信の場として、県民の様々な活動を支援します。 ※上記の資料だけではなく、「沖縄」に関する資料収集も行っています。



～復帰50年沖縄女性たちのあゆみ～

1972年5月15日は沖縄が日本に復帰した日です。

昨年は沖縄が日本に復帰して50年が経ち、県内では様々な式典や先人たちの苦勞と知恵、そしてこれからの沖縄の未来を考える機会が多くありました。今回は復帰から50年の沖縄の歴史や女性運動、沖縄の女性史に関するおすすめの本を3冊ご紹介します。この機会に是非お手に取って読んでみて下さい。

写真集 沖縄返還1972年前後



この写真集はアメリカ世から大和世に移る瞬間の様々な現場が記録された貴重な資料。米軍基地や労働問題、デモなどその当時の光景が写真に収められており、本や資料だけではわからない沖縄返還までの事柄が知れる貴重な写真集となっています。

序文：鎌田慧
写真：池宮城晃、池宮城拓

女性のいない民主主義



政治の歴史的流れや言説を女性、ジェンダー的視点から見ていき、今まで表されてきた「民主主義」「政治」について考えていく内容となっています。今まで特に疑問に持っていなかったことでも、立場を少し移動してみると案外「あれ？」と思うこともある。その試みを政治学者である筆者と一緒に考えていき、多様な視点をもつきっかけの一つとなれる一冊です。

前田健太郎（著）

沖縄の女たち 女性の人権と基地・軍隊



基地から派生する問題の一つである米兵から女性に対する人権侵害、女性兵士に対する男性兵士による軍内での性的いやがらせ、慰安婦や売買春の問題などについて記されています。本が出版されたのは1996年になりますが、現在でも通ずる内容となっています。女性の人権問題に対して考えさせられる一冊です。

高里鈴代（著）

ご利用方法

- 時 間：火曜日～土曜日 9：00～20：00、日曜日 9：00～17：00
- 休室日：毎週月曜日（休館日）、毎月第1水曜日（室内整理日）、12月29日～1月3日（年末年始）
- 借りる：住所・氏名の確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証）などをご持参ください。沖縄県内在住の方であればご利用できます。
- 期 間：1人10冊まで、2週間
※ 雑誌は最新号以外を借りることができます。
※ 行政資料・館内ラベルの資料は室内閲覧のみになります。
- 問い合わせ：沖縄県男女共同参画センター TEL 098-866-9090（代）



令和4年度 第4期 「ていいるる塾」課題検討結果報告会・ 閉講式を開催しました！

玉城知事を塾長として、令和元年度からスタートした女性人材育成事業「ていいるる塾」。沖縄県内に在住する概ね20歳から40歳までの自身のキャリアアップに意欲がある女性を対象に募集、第4期になる今年度は、全9回のプログラムを受講した20名の塾生が修了しました。

II 「ていいるる塾」の目指すところ

「ていいるる塾」では、様々なライフステージの中で自分の持てる能力を最大限発揮するため、ネットワーク、マネジメント力、論理的思考力等を伸ばし、職場、家庭、地域のあらゆる場で活躍できる人材を育てます。さらに、塾生同士で刺激し合いながら学び、講座終了後も支え合う仲間となっていくネットワークづくりを目指します。



II 「ていいるる塾」の様子

修了までの全9回のプログラムでは、コーディネーターの波上こずみ氏（株式会社Cosmic Consulting 代表取締役・組織コンサルタント）を中心にアドバイザーによるサポートを受けながらグループワークを重ねました。また、沖縄県内外の各分野で活躍している講師による講座やグループワークなどを行いました。

男女共同参画講座	喜納 育江 氏（琉球大学国際地域創造学部 教授）
ロジカル系スキルアップ 講座	高田 朝子 氏（法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授）
公開講座	林 陽子 氏（弁護士、元国連女性差別撤廃委員会委員長）
コミュニケーション系スキルアップ 講座	高田 朝子 氏（法政大学経営大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授）
県内女性リーダーに聞く！	野原 真麻 氏（株式会社islandworks代表取締役） 玉城 直美 氏（特定非営利活動法人沖縄NGOセンター代表理事）



グループワーク風景

II 課題検討結果報告会の様子

女性が自分らしく働き続けるキャリア形成の実現に向け、グループごとに課題検討結果報告を行いました。

グループ名	課題検討テーマ
1 GAP	「自分らしく働くために～多様な働き方の実現を目指して～」
2 choose of me	「choose of me～自分の選択をするために～」
3 且緩々	「それぞれのワークライフバランスを目指そう」
4 結◎イノベーション	「子育て期 想いと現実の壁～共有でつなく みんなの輪～」



課題検討結果報告会の様子

II 閉講式の様子

第4期ていいるる塾の閉講式を無事に終えることが出来ました。最初にていいるる塾長 玉城デニー 沖縄県知事より挨拶（ビデオ録画）をいただきました。次に、沖縄県子ども生活福祉部 宮平道子 部長より修了証書を塾生全員に授与し、第4期ていいるる塾生を代表し、赤嶺和香さんが挨拶を行いました。最後におきなわ女性財団 大城貴代子 理事長が閉講の挨拶を述べました。



子ども生活福祉部 宮平部長より修了証書授与



塾生代表挨拶 赤嶺和香さん

令和4年度 女性人材育成事業「ている塾出前講座」(YouTube 録画動画配信)

第1部: ジェンダー&ダイバーシティ講座
第2部: ロジカル&コミュニケーション講座

配信期間: 2月6日(月)9:00~3月6日(月)17:00

講師: 第1部 新垣 誠 氏 (キリスト教学院大学 人文学部長)
第2部 高田 朝子 氏 (法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

場所: YouTubeを利用したオンライン配信

内容: 身近な例を挙げながら性差に関わる無意識の偏見(ジェンダー・バイアスなど)についてユーモアを交えて学びました。また、ロジカル&コミュニケーション講座では、自分の思い込みや考え方の癖(マインドセット)を理解し、自分の考えを相手にきちんと伝えるロジカルな方法を学びました。



新垣 誠 氏



高田 朝子 氏

【DV防止啓発講座】「DV被害の心身への影響とケアについて」

実施日: 2月15日(水)13:00~15:00

講師: 長崎 文江 氏 (みえばしクリニック院長)

場所: ている1階 ホール

内容: DV被害の心身への影響とケアについて基礎的な理解を深めつつ、支援者として知っておきたい支援の際の考え方など専門的な話に、受講者は熱心に聞き入っていました。受講者からは、「今日得た知識等を支援の現場に活かしたい」という声が寄せられました。



長崎 文江 氏

【コミュニケーション講座】「発達が気になる子の子育て支援を考える」

実施日: 2月25日(土)14:00~16:00

講師: 平良 博子 氏 (コロロメソッド発達療育支援センター 代表)
葉袋 知子 氏 (コロロメソッド発達療育支援センター センター長)

場所: ている3階 研修室1・2

内容: 発達が気になる子の特徴とその原因について、脳の活動水準・バイオリズム・原始反射の視点から動画を使用して解説していただき、関わり方のコツ、将来を見据えて大切なことを学びました。参加者から、大変有意義な時間だった、理解を深めることができたなどの声をいただきました。



平良 博子 氏、葉袋 知子 氏

【防災講座】「津波避難ワークショップ その時、あなたはどうしますか!？」

実施日: 3月2日(木)14:00~16:00

講師: ①河村 優太 氏 (沖縄気象台 地震火山課 技官)
②根間 幸美 氏 (沖縄気象台 業務課 リスクコミュニケーション推進官)

場所: ている3階 研修室1・2

内容: いざという時に、自ら考えるきっかけをつくること目的とした講座です。受講者は津波・地震についての基礎知識を学んだ上で、実際に警報音を流すなど具体的な場面を想定した避難行動を疑似体験し、どこにどのように逃げれば津波から逃れることができるかをグループ毎に考え発表を行いました。



ワークショップの様子

【第2回健康教室】「アファフ(健康)ウォーク 健康的で自分らしく歩いて整う、ころと身体～」

実施日: 3月4日(土)14:00~16:00

講師: 儀間 ゆかり 氏 (アファフ(健康)ウォーク 代表)

場所: ている1階 フィットネスルーム

内容: からだと脳の仕組み、体重を乗せるバランスポイントの説明などを座学で学び、実践で歩き方の練習をしました。講師は「いろいろな健康の定義があるが、10年後、20年後の自分に対し未来を想像し、生涯を創造しましょう」と話しました。参加者から、いろいろな気づきがあり勉強になったなどの声をいただきました。



講座の様子

～ているる相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010	国際女性相談 TEL : 098-880-3402	にじいろ相談 TEL : 098-880-8434	男性相談 TEL : 098-868-4011
日時	火曜～土曜 10:00～17:00		土曜のみ 10:00～17:00	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話/面接(面接は予約が必要です。) 女性からの相談を女性の相談員がお受けします。		電話/面接 (面接は予約が必要です。)	電話 男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 ※相談は、電話相談のみとなります。
	特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回)	特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆国際法律相談(週1回)		
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごとをご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		年末年始(12/29～1/3)	祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。

頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

●特典：情報誌「ているるちゃんがいっく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。

●年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円

※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。

(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

(公財)おきなわ女性財団 賛助団体会員の皆様

～当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださっている団体会員のみなさまをご紹介します～

一般社団法人沖縄県女性の翼、沖縄空輸株式会社、沖縄県女性団体連絡協議会、
沖縄県母親大会連絡会、沖縄セルラー電話株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、
沖縄ピーシー株式会社、オリオンビール株式会社、金秀アルミ工業株式会社、金秀鋼材株式会社、金
秀興産株式会社、金秀商事株式会社、金秀鉄工株式会社、金秀ホールディングス株式会社、
株式会社オーディフ、株式会社沖縄銀行、株式会社かりゆし、
株式会社かりゆしエンターテイメント、株式会社カルティバイト、国際ソロプチミスト沖縄、
相談室inトータルビューティフェア事務局、名護市女性ネットワーク協議会、
ファーム INナビーの里、パリテカフェ沖縄、ジョイネス沖縄



発行月：令和4年3月
表紙写真 大屋 玲奈

発行：公益財団法人おきなわ女性財団
TEL: 098-868-3717 FAX: 098-863-8662
HP: <https://www.okinawajosei.org/>

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体
TEL: 098-866-9090 FAX: 098-866-9088
HP: <http://www.tiruru.or.jp/>